

全科協

vol.51

NO.4

News

2021年7月1日発行 通巻第299号

特集

SDGsと科学博物館

●CONTENTS●

- P 2 ▶ 特集
- P10 ▶ 海外博物館事情
- P12 ▶ 7月8月の特別展等
- P14 ▶ 新規加盟店紹介
- P15 ▶ リニューアル情報
- P16 ▶ トピックス

JCSM
Japanese Council of Science Museums Newsletter

全国科学博物館協議会

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20 国立科学博物館内

TEL 03-5814-9863 FAX 03-5814-9899

<http://jcs.jp/>

SDGsと科学博物館

国連が持続可能な開発目標を定めた「SDGs」は、2030年までに17の目標と169のターゲットの達成をめざしている。SDGsはSustainable Development Goalsの略称であり、「エスディー・ジーズ」と読むことは広く知られるようになった。地域に根差した科学博物館としての役割への期待も高まりつつあるが、具体的にどのように取り組めばいいのか見当がつかないというケースもまだ多いのではないだろうか。

実際のSDGsの17ある目標の中から、科学博物館に関係のありそうなものをいくつか挙げてみよう。4番目の目標「質の高い教育をみんなに」は、学習支援や教育普及活動の推進を促している。14番目と15番目の目標「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」は生物多様性への取り組み、17番目の目標「パートナーシップで目標を達成しよう」は地域をはじめ他団体との連携強化が必須となる。これらは、いずれも多くの科学博物館ですでに取り組んでいるものではないだろうか。それでは、科学博物館はSDGsと新たにどう向き合えばよいのだろうか。

本特集では、まず初めにSDGsとは何かを確認するため、亀井 修氏に、科学博物館を念頭に置き、SDGsを総論的にまとめていただいた。SDGsのスタートラインがどこなのかを知ることは、文字通りSDGsに取り組むためのはじめの一步となる。石田弘明氏には、人と自然の博物館の「ひとくSDGs宣言」が誕生した背景とめざすものを報告いただく。同館館長の発案への当初の戸惑いから、具体的な取り組み、ここ数年の状況の変化など、いずれも貴重な現場の声だ。島村知花氏には、SDGsそのものをテーマにした展示について紹介いただく。展示のアイデアはもちろん、参加者の意外な反応が興味深い。林 美帆氏には、先進的な取り組みとして「公害資料館ネットワーク」について報告いただく。目先の「目標達成」にとらわれず、信念をもった継続的な活動が大切であることが伝わってくる。

相変わらず続くコロナ禍で落ち着かない中、4名の著者に寄稿いただいた記事をまとめた本特集が、SDGsへの今後の取り組みの足掛かりになることを願っている。

株式会社キウイラボ 代表取締役 畠山 泰英

SDGsと技術と科学博物館

国立科学博物館
亀井 修ⁱ

◆誰ひとり取り残さない (no one will be left behind)

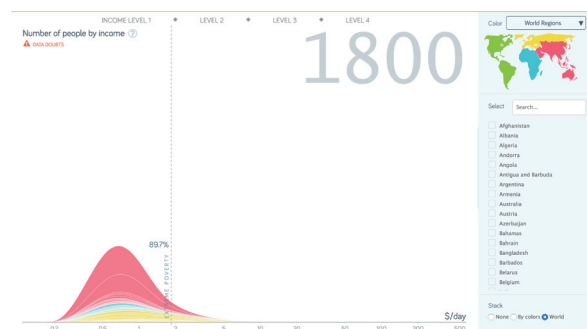
2000年の国連ミレニアム・サミットで策定されたミレニアム開発目標 (MDGsⁱⁱ) が2015年に終了するのを受けて、国連が2030年までの指針として策定した持続可能な開発のための2030アジェンダⁱⁱⁱの中核が、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs^{iv}) である。途上国の開発目標であったMDGs^vを拡張したSDGsでは先進国も対象とする17の開発目標^{vi}が示されている。相互に矛盾するような内容も含まれ、実現は解が複数存在する多元連立方程式を解く作業である。個別の目標は特に目新しいものではなく、ここ数千年にわたって人が思い続けてきたものである。違いがあるとすれば、「誰ひとり取り残さない (No one will be left behind)」の1行と、それを実現するための能力＝技術を21世紀の人が手中にしていることである。

◆スタートライン (世界の現状) の確認

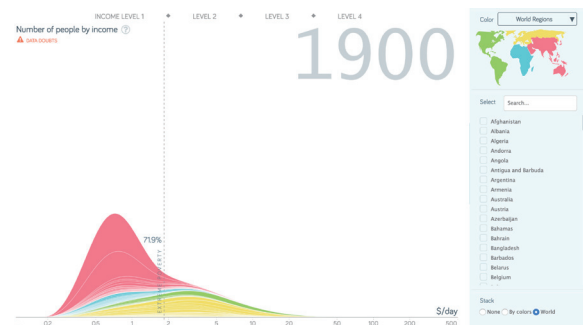
世界の現状を産業技術視点のファクト (事実) で共有する。結論から先に述べれば、人は人口を増やし、経済的に豊かになり、格差も解消してきている。平均寿命の伸びや高齢者の健康状態の改善を示すデータもある。よくなり続けてきた現状をスタートラインとして前に進み続け、人として更なる高みを目指そうというのがSDGsである。

グラフは最貧のLevel 1から最も豊かなLevel 4までそれぞれの所得カテゴリーに属する人びとの数を示している^{vii}。濃淡はそれぞれの人が住む地域である。図(a)～(d)で年代ごとの変化を示した。(a)は工業化の始まりの1800年、(b)は1900年、(c)は最初の石油ショックの

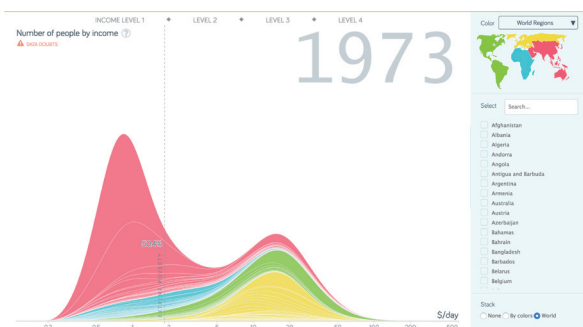
1973年、(d)は直近の2020年である。(a)では世界の大部分がLevel 1の貧しい状態にある。(b)では西ヨーロッパ関係地域が先行して豊かなレベルに移行する。(c)では大戦後の冷戦など世界状況の混乱が続くものの、主要先進国が先行して経済的に豊かになるとともに、多くの国が独立した。衛生状態や食糧事情の改善また民族平等意識の向上などにより世界的に人口の増加が先行した結果、豊かな地域と貧しい地域の格差が開いた。この時期には人口の増大による資源の不足も懸念された。人口は更に増大した(d)現在では、1970年代に心配された食料や石油などの資源の不足は起こっていない。化学肥料や農薬、作物の品種改良、栽培方法の改善などにより、食糧も過剰ともいえる生産を続けながら、バイオ燃料などへの利用で価格急落も防いでいる。石油などの資源の枯渇は発生せず、各種資源も新規開発と技術開発で経済的合理性を維持している。世界中全ての地域で豊かさが進み、中間層は割合・量ともに膨らみ豊かさが進行した。ここがスタートラインである。



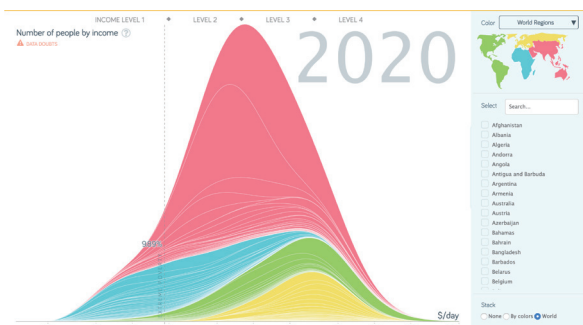
(a) 1800年・世界の大部分が貧しい



(b) 1900年・欧米が先行して豊かなレベルに移行し始める



(c) 1973年・G7先行、世界人口の増大、格差顕現化



(d) 2020年・人口が更に増大、中間層が膨らむ。世界全体が豊かに

◆SDGsと科学博物館

アントロポシーン（人新世、じんしんせい、英：Anthropocene）^{viii}＝技術開発によって人が地球規模で地質年代的時間を経過しても観測しうる環境や生態系に影響を与えるようになった時代とSDGsは密接に関係する。どちらも人は地球環境を任意の方向へ変えうると考える。実際に変えうるかどうかわではなく、変えうるという意識を共有することが重要である。

分かりやすい例えとして、石油ショック（1973年、1979年）と逆石油ショック（1986年、2014年、2020年）があげられる。前者の価格急騰は資源が枯渇したから起きたのではない。後者の価格急落は埋蔵量や実需要から起きたのではない。「みんながそう考えたから、そうなった」のである。ダボス会議^{ix}などで解決できる重要課題として取り上げられる「気候変動」や「温室効果ガス」、「生物多様性」^xなども同じである。SDGsは、そこに掲げられた目標の実現を通じて人にとってよりよい世界を実

現するための手段である。

科学博物館は産業や自然科学に関する資料を収集整理・保管して、展示および科学的研究や社会教育を行うことを目的とする集客型文化・学術機関である。活動は、蓄積や継続や正確さに重きをおくものと、今日的課題を素早く捉えて解決の方向を多様な視点の一つとして素早く示すことに重きをおくものと両方で進められてきている。今後は、「部分」だけではなくその位置づけや「全体」像の提示が一層重視される。SDGsで話題とされる課題については「イメージ（印象）」ではなく、「ファクト」での分析を提示することが不可欠である。

「誰ひとり取り残さない」を実現する力は技術開発によって培われてきた。採取や狩猟を行って食料を得る技術、宗教や政治で社会を形成する技術、衣食住を確実にした都市開発や農耕技術、移動や搬送技術、石炭や鉄鉱石などの化石資源を活用する産業技術、肥料や農薬あるいは作物の品種改良、抗菌剤、直近に至っては石油化学や情報技術、電力や大型航空機や船舶技術や少し未開発なところもあるが、遺伝・テクノロジーや核エネルギー技術なども外すことはできないだろう。技術は人が地球環境にまで責任を感じなければならない時代、アントロポシーンをもたらしした。自然環境の変化だけでなく、変化に対応する人の現状を事実に沿って示すことが次の課題の解決につながる。

世界は複雑系である。身近な事象でも従来の科学的手法では相関を示せないことがある。SDGsは複数の要素を地球規模で制御して、複数の事象の望ましい成果を同時に実現しようとする取り組みである。想定外^{xi}の要素や関係性の存在を意識しながら、それでも工学的・政治的に大胆な仮説を設定して、投入資源と期待成果のバランスを評価しながら前に進むこととなる。SDGsはリスクを取る投資である。期待される収穫が納得しうるものでなければならないし、収穫が期待どおりにならないリスクも理解しておかなければならない。科学博物館には時間軸・空間軸を俯瞰する知見の提示に加えて、価値判断の視点、SDGsに必要な資源・期待される収穫・リスクをイメージだけでなくファクトで示すことが期待されている。

◆持続可能な科学博物館

科学博物館と他の組織の比較を考えた。既存の知識を効率的に伝える目的では学校に優位性がある。伝統や価値観の継承には家庭教育や地域教育が不可欠である。実物を用いた伝達では日本型OJT^{xii}がより生産的である。速報性や分析であれば、ネットやメディアが量と利便性で優位に立つ。知の継承や保存・発展であれば大学や図書館の利点が目につく。快適なサービスの提供であれば営利企業にかなわない。

科学博物館の持続可能性はステークホルダーから見た「役に立つ」に左右される。ステークホルダーは複数の価値観を持つ人びとである。一般的に複数の価値観に対する唯一解は存在しない。また最適解は時間や状況とともに変化する。試行を不断に行い、ステークホルダーの

評価が得られた場合、その博物館は持続・発展し続けることができる。

- i 産業技術史資料情報センター 参事役 博士（工学）
- ii Millennium Development Goals (MDGs) :
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/global_action/mdgs/ [2021/5/10 閲覧]
- iii The 2030 Agenda for Sustainable Development: https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/
英語 https://www.un.org/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/RES/70/1&Lang=E [2021/5/10 閲覧]
日本語訳（外務省仮訳） <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf> [2021/5/10 閲覧]
- iv Sustainable Development Goals (SDGs) :
<https://www.un.org/sustainabledevelopment/> [2021/5/10 閲覧]
- v MDGs : 1. 極度の貧困と飢餓の撲滅。2. 普遍的初等教育の達成。3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上。4. 幼児死亡率の削減。5. 妊産婦の健康の改善。6. HIV／エイズ、マラリアその他疾病の蔓延防止。7. 環境の持続可能性の確保。8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進。
- vi SDGs : 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。10. 各国内及び各国間の不平等を是正する。11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。12. 持続可能な生産消費形態を確保する。13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる*（*国連気候変動枠組条約（UNFCCC）が、気候変動への世界的対応について交渉を行う基本的な国際的、政府間対話の場であると認識している）。14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続

可能な形で利用する。15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

- vii Gapminder foundation:
<https://www.gapminder.org/> [2021/5/10 閲覧]
- viii パウル・クルツェン（Paul Jozef Crutzen）によって2000年から普及した。2016年の国際シンポジウム「アントロポシーンにおける博物館 生物圏（バイオスフィア）と技術圏（テクノスフィア）の中の人間史をめざして Museums in the Anthropocene: Toward the History of Humankind within Biosphere & Technosphere」では、自然史と人間の活動の歴史（特に産業史、技術史、科学史、哲学史、宗教など）の散在する知見を俯瞰したフレームワークの構築が試みられた*。
*出典：Kamei, O., et al., "Museums in the Anthropocene: Toward the History of Humankind within Biosphere & Technosphere", . National Museum of Nature and Science, 2016.
- ix スイスのダボスで開催される世界経済フォーラム（英：World Economic Forum, WEF）の年次総会。WEFは経済・政治・学術などの社会的リーダーの連携により、産業の世界的・地域的課題を形成して世界の改善に取り組むことを目的としているスイスの国際的非営利財団。ダボス会議には、選ばれた知識人やジャーナリスト、多国籍企業経営者や国際的な政治指導者などのトップ・リーダーが一堂に会して世界が直面する重大な問題について議論する場とされている。
- x 国立科学博物館は自然史・人類史・技術史・科学史を扱う科学博物館である。「生物多様性」などもキーワードの一つとしている。自宅、特に台所などで生物多様性が実現されたら、多くの人はパニックになるのでは…、と考えることもある。生物多様性も人がよりよく生きるための手段の1つである。
- xi「想定外」。工学的には「思いつかない」ではなく「それは考えないこととする」という術語。
- xii On the Job Training. 現任訓練、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。現場（まかせ）教育、徒弟制、意図的・計画的・継続的な指導計画がない場合に使われることもある。

SDGsの達成に向けた取り組み方針の策定

兵庫県立人と自然の博物館
石田 弘明

◆ひとく SDGs宣言

兵庫県立人と自然の博物館は、2021年3月に「ひとく SDGs宣言」を策定し、これを館のホームページに掲載した。この宣言はSDGsの達成に向けた当館の取り組み方針をまとめたもので、以下に示す六つの方針から構

成されている。本稿では、これらの方針を打ち出すに至った経緯や理由などについて紹介したい。

【方針1】

調査・研究活動や自然環境情報の収集・活用を通じて、

SDGsの根底にある諸課題(生物多様性、生態系サービス、まちづくり、地域づくりなどをめぐる課題)の解決策を考案し、その成果を社会に広く発信・提供していきます。

【方針2】

学習支援活動や教育普及活動を通じて、SDGsの達成に貢献するリーダーや人材を育成すると共に、こうした人々の活躍を支援する取り組みを推進していきます。

【方針3】

シンクタンク活動を通じて、SDGsの達成に向けた行政機関、市民団体、民間企業などの取り組みを支援していきます。

【方針4】

ジーンバンク活動を通じて、行政機関、市民団体、民間企業などによる生物多様性保全活動や森づくり、草原づくりを支援していきます。

【方針5】

館内の省エネルギー化、省資源化、再生可能エネルギーの健全な活用に向けた取り組みを強化・推進していきます。

【方針6】

館内のSDGs推進体制を構築し、SDGsの達成に向けた館全体の取り組みや他機関・他団体との連携を強化・推進していきます。

◆発端

当館には企画・調整室という部署があり、私はその室長を務めている。企画・調整室の役割は「企画」と「調整」であるが、その中には、館長の考えや指示などを実現させるという役割も含まれている。これらの役割を果たすことはなかなか大変で、いつも苦労している。

さて、今から数年前、館長から企画・調整室に対して次のような指示があった。「SDGsが今後の大きなトレンドになる。博物館の取り組みが極めて重要だ。SDGsの達成に向けた活動を積極的に進める必要があるので、至急検討し実行するように」

しかし、その当時、私を含む企画・調整室のメンバーはSDGsの中身についてほとんど何も知らなかった(名前は知っていたが)。「SDGsって何?」「博物館や当館とどのような関係があるの?」と思ったが、館長にこのようなことは言えなかった。とにかくやるしかない。そこで、まずはSDGsの勉強から始めることにした。

◆調査

SDGsは17の目標から構成されている。各目標には複数のターゲットが設定されており、その総数は169である。ターゲットは目標よりも具体的でわかりやすい。そこで、これらのターゲットを手掛かりにして、当館の過去および現在の活動がSDGsの目標とどのような関係にあるのかを調べてみることにした。具体的には、当館の活動の一つ一つ取り上げて、それがどの目標に該当しているのかをチェックした。その結果、驚いたことに、当館の活動は、目標1(あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ)と目標9(強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進す

るとともに、技術革新の拡大を図る)を除くすべての目標に該当していることがわかった(詳細については当館のホームページを参照していただきたい)。SDGsは国連が定めた世界的な目標なので、この調査を行う前は「当館のような県立博物館との関わりは薄いのではないかと想像していたが、実際はそうではなかった。関わりはとても深かった。

◆状況の変化

上述したように当館の従来の活動はSDGsの達成に貢献するものであった。1992年に開館した当館は、SDGsが国連総会で採択される23年前から、その達成につながる活動をさまざまな形で進めていたことになる。では、SDGsの達成に向けて、当館はこれから何を行う必要があるのだろうか。SDGsをテーマにしたセミナーはすでに実施していたが、それだけでよいのだろうか。

SDGs対応のあり方について館内で議論したところ、「従来の活動を継続することが重要で、特別なことを新たに実施する必要はないのではないか」という意見が出た。この意見には説得力があり、賛同する声も聞かれた。一方、SDGs対応の新たな活動の推進を訴えるような意見はほとんど出ず、SDGsに関する館内の議論はあまり盛り上がりなかった。

しかし、その後、SDGsをめぐる世の中の状況は大きく変化した。館長の予想どおり、SDGsは時代の大きなトレンドとなり、公的機関も民間企業も市民団体もSDGsの取り組みを積極的に推進するようになった。このような状況変化を受け、「当館も何かしなければ」という思いが日増しに強くなっていった。

◆取り組み方針の策定

私たちは改めてSDGs対応のあり方について考えることにした。当館の従来の活動はSDGsの達成に貢献するものであったが、ほとんどの活動はSDGsを意識したものではなかった。SDGsの達成にさらに貢献するためには、SDGsを強く意識した活動の強化・拡大を図る必要がある。そのためにはどうすればよいか。私たちは、最優先事項として、SDGsの達成に向けた館の取り組み方針を策定することが必要であると考えた。理由は二つある。第一の理由は、取り組み方針を策定すれば、すべての館員が目標や方向性を共有することができ、より主体的で効果的な活動を館全体で継続的に進めていくことが可能になると考えられるからである。第二の理由は、取り組み方針を公表すれば、SDGsに対する当館のスタンスを社会に広く伝えることができ、当館の活動に対する社会の共感や賛同を得やすくなると期待されるからである。

◆取り組み方針の特徴

当館は、博物館の一般的な機能である資料の収集・保管、調査・研究、展示、教育・普及に加えて、シンクタンク、データバンク、ジーンバンク、学術交流といった機能を有している。取り組み方針の策定にあたって

は、当館の活動全般にSDGsの視点を組み込むために、これらの機能とSDGsをできるだけ関連づけるようにした。なぜなら、17の目標から成るSDGsの達成を図るためには多角的なアプローチが必要になるからである。一方、効果的な活動を実施するためには、推進体制を新たに構築したり、他機関・他団体との連携を強化したりすることも必要である。そこで、「体制づくりやパートナーシップに関する方針」を取り組み方針の一つに位置づけることにした。その結果、取り組み方針は全部で六つとなった。

◆今後の課題と活動

今後の課題は、取り組み方針が絵に描いた餅にならないよう（SDGsウォッシュとみなされないよう）、六つの方針を実際の活動に反映させていくことである。当館では、その一環として今年度から企画・調整室にSDGs担当を置くことにした。また、館が主催する会議のペーパーレス化を本気で進めることにした。ただし、これらの活動はほんの手始めにすぎない。取り組み方針のねらいは当館の活動全般にSDGsの視点を組み込むことにあるので、今後はSDGsを強く意識した活動が徐々に増えていくであろう。SDGsは当館のオリジナルの目標ではないが、その達成を目指すことによって、当館の活動はさらに発展していくと考えられる。



開館25周年を記念して発行した冊子。2012年度から2016年度までの当館の活動をわかりやすく紹介している。これを見ると、当館の活動がSDGsの達成に貢献していることがわかる。



当館のジーンバンク活動を紹介した冊子。ジーンファームはさまざまな野生植物を育成・増殖するための施設で、ジーンバンク活動の中心的役割を担っている。この施設を活用して「取り組み方針4」の活動を推進している。

越谷市科学技術体験センター開館 20 周年記念特別展 「SDGs ってなに？ 未来のためにいまわたしたちができること」

越谷市科学技術体験センター
島村 知花

1. はじめに

一越谷市科学技術体験センターにおける展示一

昨年、新型コロナウイルス感染症の流行が転換点となり、この1年あまりの間に世の中のあらゆるもののあり方が見直され変容してきた。

当センターでも、展示の方法に変化があった。コロナ以前は、直接触って体験する接触型の装置が展示の主軸であった。金銭的な理由で入れ替え困難な状況にある常設の体験装置は、開館時から使用しているものがほとんどで、機器の入れ替えを望む声が聞こえているところであったため、コロナをきっかけに、感染リスクを伴う接触型の体験装置の運用を一時休止し、それに代わるものとして初めて企画展示を開催する運びとなった。

科学技術体験センターという名のとおり「体験すること」に重きを置いている当センターには、標本のコレクションや解説パネルといった「見せる」展示物がほとんど所蔵されていない。企画展の展示品は、一部を除いて関係機関からの借用展示物を中心に構成されており、協力機関の存在は当センターの企画展運営にとって無くてはならないものである。

2. 宮沢賢治展からSDGs展へ

当センター初の大型企画展は、2020年11月3日から開催していた「サイエンティスト 宮沢賢治～一個のサイ

エンチストとしては認めていただきたいと思います。～」展であった。多数の文学作品を残したことで知られる宮沢賢治であるが、科学にも深く精通しており、作品の随所にその豊富な知識がちりばめられている。宮沢賢治は30歳の時、農民のために羅須地人協会という私塾を設立して音楽や演劇などのほか、科学や農業技術を教えていた。当時、そこで使用されていた教科書「農民芸術概論綱要」には、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という一文がある。この考え方はSDGsの考え方「誰ひとり取り残さない No one will be left behind」と重なる。越谷市教育委員会としてもSDGsへの取り組みに力を入れていることから、2021年5月3日に20周年を迎えた当センターの開館20周年記念特別展として「SDGsってなに？ 未来のためにいまわたしたちができること」を開催することとなった。

3. 「SDGsってなに？未来のためにいまわたしたちができること」の展示内容

●17の目標解説パネル

本企画展は、どれか一つの目標にテーマを絞らず17個ある目標すべてを網羅する形でパネル展示及び関連する実物展示を行っている点が特徴である。展示するパネルは、ひとつひとつ職員が1から内容を考えパネル化したオリジナルのもので、その数は全部で180枚ほどにな



企画展2階入口ゲート

る。パネルを作成する上で特に意識していたのは、展示を見た人がSDGsをごく身近な問題としてとらえられるよう、見る人とそれぞれの目標との距離感をいかにして縮めていくか、という点であった。目標それぞれの説明では、抽象的な表現や、あまりに規模が大きすぎるデータの使用を避け、なるべく具体的かつ身近に感じやすい数字を使って説明するよう心掛けた。

例えば、目標1の「貧困をなくそう」では、貧困というテーマを具体的に表現するため「1日あたり210円の生活がどんなものか」という視点で解説パネルを作成した。「210円」という数字を、ゲームソフトやスーパーで売られているおにぎり、当センターの最寄り駅からどこまで電車に乗れるかなど、当センターの近隣に暮らす人や小学生にも身近に感じられるものを例に挙げることで、自分の生活に置き換えてイメージしてもらえるような内容にした。

また、科学の力がSDGsの目標達成に貢献している部分も大きく、17の各目標の展示の一部では、その事例を紹介している。特に、貧富の格差などは科学的な技術が整った環境の有無が要因となっているところもあり、SDGsの目標達成と科学技術の存在は密接に繋がっていることがわかる。そのことから、科学館という施設が扱うテーマとして、SDGsを取り上げることの必要性を強く感じる。

●企画展の特徴 ミラクルの実験LIVE

企画展に関連し、科学館としての特徴を活かしてSDGsに絡めた科学実験を目の前で行うライブ形式の公開実験を開催した。果物の皮などの身近なものや、クリーンエネルギーで走るエコカーの模型などを使って、資源

の再生や地球にやさしいエネルギーの原理を解説するほか、水素の爆発実験など目を引く楽しいコンテンツも盛り込み充実したプログラムとなった。

●さまざまな角度から見るSDGs

そのほかにも、世界各国の達成度上位5カ国の紹介、さらに、企業が実践するSDGsへの取り組み事例の紹介も併せて行っている。これは、SDGsを少し違った角度からとらえ直すことで、より多くの方にSDGsの存在を知っていただくきっかけづくりとなることができると考えたためである。

達成度上位5カ国の紹介では、SDGsの取り組み内容と併せて、それぞれの国の文化を紹介している。達成度1位のスウェーデンのブースには、同国の名産品であり世界一臭い食べ物とも言われる「シュールストレミング」の実物を展示し、その臭さが体験できるコーナーを設置した。直接SDGsや科学に関心を持っていなかった方でも、世界一臭いと言われると俄然興味が湧くようで、臭い体験をするために来館したという人も多い。この臭い体験を通して、来館した方がSDGsの存在を知り、展示を見て家や学校へSDGsに対する意識を持ち帰っていただくよいきっかけとなっている。

また、企業の取り組み事例の紹介では、東京電力ホールディングス株式会社、株式会社コーセーと連携し、それぞれの企業の取り組みを紹介するパネルや取り組みに関連する絵本、動画などの展示を通してご覧いただけるようにしている。

4.企画展関連イベント

感染症対策を万全にした上で、SDGsの企画展と合わせて関連事業を開催した。

企画展開始後最初の日曜日には、吉本興業ホールディングス所属の芸人「黒ラブ教授」による講演会「SDGsってなに？」を開催した。SDGsを科学技術の側面から笑いを交えて解説するトークショー形式の講演会で、市外からの来館者もあり盛況だった。講師にパナソニック株式会社の方をお招きした「パナソニック親子工作教室～気球型カラフルランプシェード～」は、LEDライトを使ったオリジナルのランプシェードを作りながらランプの種類などを通じて省エネを学ぶ内容で、楽しみながら省エネやSDGsについての理解を深めることのできる講座となった。GW中に開催した当センター初開催の「謎解き科学館へようこそ」は、昨今の謎解きイベント人気



目標解説パネルと実物展示、科学技術の貢献についての解説パネル



ミラクルの実験LIVE



達成度1位スウェーデンの紹介ブース

も相まって予定していた予約枠がほぼすべて埋まるほどの反響をいただいた。企画展示室内をめぐりながら科学の知識が豊富に盛り込まれた仕掛けで謎解きを楽しむことができ、参加者の満足度も高いイベントとなった。

5. 今後について

この企画展はちいさ新聞の越谷版に掲載されたほか、

市の青年会議所や市議会議員も多数来館するなど、市内では少しずつ注目を集め始めている。コロナの影響もあり、遠方の方に展示をご覧いただく機会を設けられないことが惜しまれるが、引き続き、SDGsの目標達成に向け科学館としてできることをひとつずつ積み重ね、より良い未来を創る担い手として貢献していきたい。

公害資料館ネットワークとSDGsの学び

公害資料館ネットワーク 幹事・みずしま財団
林 美帆

◆「公害」のイメージ

「公害資料館」というものがあることは、未だに驚かれることが多い。その理由の一つに「公害」の言葉が持っている意味やイメージの幅の広さが挙げられよう。

研修や授業の導入のアイスブレイクとして「公害と聞いてイメージすることは何でしょうか?」と、思いつく言葉をメモしてもらうワークショップを行うと、「水俣病」や「イタイイタイ病」、「四日市ぜんそく」といった病名が出てくることが多い。公害のイメージは病気なのだ。

公害は環境基本法（旧：公害対策基本法）によって、7つの事象「大気汚染」「水質汚濁」「土壌汚染」「騒音」「振動」「地盤沈下」「悪臭」が公害とされ、「人の健康又は生活環境に係る被害が生ずること」が公害だと法的に定義されている。

そして、公害が社会問題となった1970年前後の公害の認識と、法的な公害の定義とはズレが生じてしまうことも事実である。上記の法的な公害には、カネミ油症や森永ヒ素ミルクなどの食品公害や、スモンなどの薬害などが含まれていないが、公害が社会問題化した時代には食品公害や薬害も公害として共に反対運動が展開された。また、公害の健康被害は「水俣病」や「イタイイタイ病」、「四日市ぜんそく」だけではない。「公害健康被害補償法」として、第1種（非特異性疾患）と第2種（特異性疾患）として分類され、第1種は大気汚染による公害健康被害で、第2種は多くの人が公害としてイメージする「水俣病」や「イタイイタイ病」など、健康被害の原因となる物質が特定されている疾患となっている。この第1種に

しても「四日市」としか地名が出てこない場合が多いが、千葉・東京・川崎・横浜や名古屋・東海、大阪・尼崎・神戸、水島、北九州など、太平洋ベルト地帯が軒並み公害指定地域となり、呼吸器疾患の患者が公害病として認定を受けている。第2種もヒ素による健康被害も含まれているがそのことを知っている人が少ない。そして、第1種も第2種も共に、現在も公害病の未認定の問題があり、裁判や公害調停で社会問題となり続けている。

言い換えれば、現在の「公害」としてイメージするのは幅が狭く、公害の実態を理解するには現実とイメージの間に乖離があり、その乖離が公害の学習のハードルとなっている。

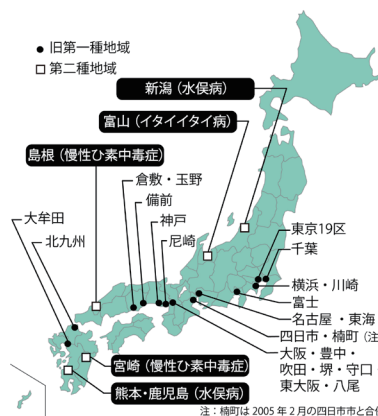
◆公害資料館の複雑さ

公害の経験を伝えるために公害資料館が作られるのは、1990年代ごろになってからである。1960年代後半から1970年代の四大公害裁判後に提訴された水俣病や大気汚染の公害裁判が和解し、「公害の経験を伝える」ことや地域再生に舵を切ったことで各地に公害資料館が設立されていく。資料館の運営主体は行政や民間団体などさまざまであり、中には「館」をもたないフィールドミュージアムの活動もある。運営主体がさまざまであることは、主張が違うことを意味している。故に同じ地域にあっても、主張が違う公害資料館が存在している。

2013年に環境省から、環境教育促進法による地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業が公募され、公益財団法人公害地域再生センターが公害資料館ネットワークを作ることを掲げて採択された。この事業を契機



公害資料館ネットワークウェブサイト
<https://kougai.info/>



注：橘町は2005年2月の四日市市と合併
全国の公害指定地域

に、立場や主張が違う公害資料館が一同に介する「公害資料館連携フォーラム」が新潟で開催され、公害資料館ネットワークが設立した。公害の経験を伝える公害資料館に携わる人たちが、「同じ悩み」を抱える「仲間」であることを初めて確認した機会となった。SDGsの目標の一つとなっているパートナーシップが公害資料館ネットワークを作ることで、実現したということができよう。

◆ネットワークだから可能となったもの

2013年以降、公害資料館連携フォーラムは各地の公害地域にて年1回開催され、各地の公害を学びあう機会となった。各地の公害の特色はさまざまで、企業との信頼関係の構築や行政との距離感、資料の保存状況など、得意なことの違いがある。公害資料館ネットワークがあることで、この違いを体感し学び共有することが可能となった。

具体的には、富山の事例を学んだことが例として挙げられる。公害は「加害／被害」の関係にあるために、企業や行政と被害者の関係性は現在においても緊張があり、不信感がつのることが多い。その中で、富山のイタイタイ病の裁判は1972年の公害防止協定書により原因企業への立ち入り調査が盛り込まれた。この協定書に基づき、汚染源を止めるために加害者と被害者の双方が立ち入り調査という努力を毎年積み重ねていった。その努力をフォーラムで、企業の担当者と被害者が同じ壇上で語り、「緊張感ある信頼関係」を構築してきた経験が共有されることとなった。2018年の東京でのフォーラムではSDGsを全体のテーマとして掲げた。2030年までにゴールを達成するだけでなく、内発的発展の重要性や権利基盤アプローチがSDGs達成のために必要であり、イタイタイ病の事例は「Conflict as our Property - 紛争は我々の共有財産」として紛争の解決を国や企業に丸投げせずに、地元の問題として取り組まれてきたことを評価し、経験は財産であると学ぶ機会を持った。このように、公害の「加害／被害」の関係でも信頼関係を作ることができることを参加者は目のあたりにし、各地の公害地域に気づきをもたらした。

フォーラムや研究会において、フィールドワークの方法の共有や、資料保存の考え方や方法、展示の作り方な

ど、さまざまな情報やノウハウが共有され、各地の活動に還元されていった。それまで、公害資料館を運営する人たちは顔の見えない関係であったが、8年の活動を経て顔が見える関係になってきた。2020年はコロナ禍により対面での交流が難しくなったが、インターネットを活用したオンラインでの交流が行われ、意見交換が行えるまで関係性が変化している。

◆SDGsが広げる学び

SDGsの概念が一般的に広がりを見せる中、公害資料館ネットワークでは公害を糸口にしながらさまざまな課題を見ることができるようになっている。例えば、2020年にはナガサキピースミュージアムで「影、光る—全国公害資料館からのメッセージ」と題して公害資料館ネットワークの展示を行い、クロストークイベントを行った。また、2021年には長崎でフォーラムを開催すべく準備をしている。長崎にもカネミ油症などの公害があること、また原爆の被爆地で展開されてきた平和学習の経験を学びたいという意図もある。このように、公害資料館ネットワークは公害に軸足を置きながら、さまざまな分野との重なりから学ぶという新しい一歩を踏み出そうとしている。

公害の経験を学ぶための間口は少しずつ広がってきている。科学と社会の双方向の対話はこれから重要なテーマとなっていくだろう。全国の科学博物館とも連携をして公害の学びを広げていきたい。



ナガサキピースミュージアムでのクロストーク

TOKYO SCIENCE CO., LTD.

ミュージアム・ショップ向／教育用地学標本



地学標本／化石・鉱物・岩石

古生物／レプリカ・復元模型

恐竜復元モデル

since 1974

◆常設ショールーム：紀伊國屋書店・新宿本店1F TEL.03(3354)0131(代表)◆

Fossils, Minerals & Rocks

株式会社 東京サイエンス

TEL.03-3350-6725 FAX.03-3350-6745

http://www.tokyo-science.co.jp

E-mail: info@tokyo-science.co.jp

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イワオ・アネックスビル

Practical Specimens for Study of Earth Science

Panasonic BUSINESS

現場の難題、求む。

お客様の課題の数だけ、答えがあります。

便利で
安心な場

経路証明・画像記録
ソリューション

場所を
選ばない
柔軟な
働き方

多様な働き方改革
支援サービス

お客様に
寄り添った
空間を

空間価値向上
ソリューション

リピーターが
増える
お店にしたい

お客様の
行動分析による
店舗オペレーションの
最適化

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

https://www.panasonic.com/jp/company/psj.html

※販路の要約



■ 新型コロナウイルス感染拡大と戦う博物館

米デルタ航空博物館、新型コロナウイルスの集団予防接種センターを開設（2021年3月）

2021年3月15日に、米国はジョージア州の州都アトランタ（都市圏人口：約580万人）郊外のハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港内にあるデルタ航空博物館に、ジョージア州保健衛生局によって、新型コロナウイルスの集団予防接種センターが開設された。1995年にアメリカの民間航空会社「デルタ航空」によって、デルタ航空・交通遺産博物館として開館した同館は、アトランタ国際空港内にある2棟の航空機格納庫（1941年完成）に設けられている。集団予防接種センターは、歴史的な航空機が並ぶ広大な航空機格納庫の一角に設けられている。

Delta Flight Museum, Hapeville, Georgia.

<https://news.delta.com/community-vaccines>

カタルーニャ鉄道博物館、新型コロナウイルスの集団予防接種センターを開設（2021年4月）

2021年4月21日に、スペインはカタルーニャ州の州都バルセロナ（都市圏人口：約558万人）近郊のビラノバ・イ・ラ・ジャルトル市にあるカタルーニャ鉄道博物館に、カタルーニャ州保健衛生局によって、新型コロナウイルスの集団予防接種センターが開設された。1990年にスペイン国有鉄道によって開館した同館は、ビラノバ・イ・ラ・ジャルトル鉄道駅に隣接した旧駅施設に設けられており、19世紀後半の蒸気機関車28台など、さまざまな国で製造された60台以上の車両が展示されている。集団予防接種センターは、かつて倉庫として使われていた展示ホール（350㎡）に設けられている。予防接種を受けられる人は、順番待ちや予防注射を受けている間、蒸気機関車やディーゼル機関車などを観ることができる。集団予防接種の終了予定日：9月30日。

Museu del Ferrocarril de Catalunya, Vilanova i la Geltru, Catalunya.

<https://www.museudelferrocarril.org/ca>

<https://vilanova.blog/2021/04/16/vilanova-abre-el-museo-del-ferrocarril-para-poner-vacunas-en-masa-esto-es-lo-que-debes-saber/>

<https://www.theguardian.com/world/gallery/2021/apr/21/stadiums-museums-and-churches-mass->

[vaccination-centres-around-the-world-in-pictures?CMP=Share_iOSApp_Other](#)



図1 カタルーニャ鉄道博物館で、新型コロナウイルスのワクチン接種を待つ人々（2021年5月4日） Foto d'Ana Grande Jiménez

アメリカ自然史博物館、新型コロナウイルスの集団予防接種センターを開設（2021年4月）

2021年4月23日に、ニューヨーク（都市圏人口：約1,880万人）にあるアメリカ自然史博物館に、ニューヨーク市保健衛生局によって、新型コロナウイルスの集団予防接種センターが開設された。予約なしに誰でもワクチンの予防接種が受けられる同センターは、館内のミルステイン家記念海洋生命展示ホール（約2,100㎡）に設けられている。予防接種を受けられる人は、順番待ちや予防注射を受けている間、ホール内の天井から吊るされた巨大なシロナガスクジラの実物大模型（全長約29メートル）を観ることができる。集団予防接種の終了予定日：9月30日予定。

Milstein Family Hall of Ocean Life.
American Museum of Natural History, New York.
<https://www.amnh.org/about/press-center/covid-vaccination-site>

■ 新型コロナウイルス感染症拡大と博物館の廃館 米ポートランド子ども博物館、新型コロナウイルスのパンデミックの影響で廃館（2021年6月）

2021年6月30日に、米国はオレゴン州の最大都市ポートランド（都市圏人口：約215万人）にあるポートランド子ども博物館が、新型コロナウイルスのパンデミックの影響により、廃館に追い込まれた。同館は、1946の設立以来、ポートランド地域の3歳から12歳までの子どもを対象とした活動が続けてきたが、2020年2月28日にオレゴン州内で新型コロナウイルスの感染が確認され、感染拡大の対応として、3月8日の緊急事態令に続くロックダウンが発動されたことにより、入館者が激減し、入館料収入の激減により、経営の立て直しが無理と判断され、2021年3月25日に廃館が決定された。
Portland Children's Museum, Portland, Oregon.
<https://www.portlandcm.org/closure>

■ 新設館 Gent 大学、科学博物館を開館（2020年10月）

2020年10月3日に、ベルギーは古都 Gent（都市圏人口：約46万人）にある Gent 大学に、Gent 大学博物館が開館した。科学博物館である同館は、動物学コレクション、形態学コレクション、科学史コレクション、医学史コレクションの他、民族学コレクションと考古学コレクションを核に、40万点の所蔵品を有している。今後、同館では所蔵品を使った企画展を中心とした展示活動が行われることになっている。

Gents Universiteitsmuseum, Gent
<https://www.gum.gent/nl>

■ 移転 デンマーク技術博物館、コペンハーゲンに移転（2023年に再オープン予定）

2023年に、現在デンマークはヘルシンゲルにあるデンマーク技術博物館が、首都コペンハーゲン（都市圏人口：134万人）に移転して開館する計画だ。1911年にコペンハーゲンで開館した同館は、1965年以来ヘルシンゲル（都市圏人口：約62,000人）にあるが、2023年の開館を目標にコペンハーゲンに移ることが、このほど明

らかになった。新しい移転先では、現在スヴァネモレ発電所（1953年完成）が操業しているが、コペンハーゲン市内の別の場所に移転することから、空き家になる発電所の巨大な建屋にデンマーク技術博物館が移るのだ。
Danmarks Tekniske Museum.
Svanemølleværket, København.
<https://tekniskmuseum.dk/wp-content/uploads/2021/03/Potentialeanalyse.pdf>
<https://www.dortemandrup.dk/news/transforming-iconic-power-plant-new-museum-science-technology>

■ 常設展 米イサカ地球の博物館、気候変動の常設展をオープン（2020年12月）

2020年12月26日に、米国はニューヨーク州イサカ（都市圏人口：約10万人）にあるイサカ地球の博物館に、常設展示「気候変動：われわれの未来、われわれの選択」がオープンした。地球をテーマにした自然史博物館である同館は、2003年の開館以来、気候変動を取り上げてきたが、このほどオープンした常設展示では、単に過去の歴史でたびたび起きた気候変動を振り返るだけでなく、現在進行している気候変動は、人間による活動が大きな発生原因であるとし、「何をしたら、気候変動を食い止められるか」を訴えている。常設展のオープンに先立って、2020年9月25日にオンライン展示版が公式ウェブサイト上で立ち上がった。

Warren D. Allmon Changing. Climate: Our Future, Our Choice.
The Museum of the Earth, Ithaca, New York.
<https://www.museumoftheearth.org/>
<https://www.museumoftheearth.org/changing-climate>
米ミシガン科学館、気候展示をオープン（2021年4月）

2021年4月24日に、米国はミシガン州最大の都市デトロイト（都市圏人口：約355万人）にあるミシガン科学館に、常設展示「地球。風。天気」がオープンした。展示面積：232㎡。協賛：ゼネラルモーターズ。
Earth. Wind. Weather.
Michigan Science Center, Detroit, Michigan.
<https://www.mi-sci.org/galleries/#earth-wind-weather>
<https://www.hourdetroit.com/things-to-do/michigan-science-center-to-debut-new-climate-exhibit/>
<https://detroit.cbslocal.com/2021/04/22/michigan-science-center-opens-earth-wind-weather-exhibit-in-detroit-april-24/>

7月8月の特別展等

開催館	展覧会名	開催期間
釧路市こども遊学館	夏休みイベント2021 「プラネタリウム新発見!」	7月22日～8月17日
岩手県立博物館	岩手県立博物館開館40周年記念特別展 「みる!しる!わかる!三陸再発見」	6月12日～8月22日
秋田県立博物館	企画展「秋田野球ものがたり」	7月17日～8月22日
福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ	こむこむ 夏の企画展2021 レッツ スポーツ展	7月17日～8月22日
郡山市ふれあい科学館	スペースパーク企画展「ふしぎ発見!ピラミッドサイエンス」	7月17日～8月24日
	ホワイエ企画展 「第6回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展」	3月6日～7月11日
	ホワイエ企画展「日本星景写真協会写真展 「星の風景2021」」	7月17日～9月26日
ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	第81回企画展「毒をもつ生きものたちー生き残りをかけた大作戦!ー」	7月10日～9月20日
栃木県立博物館	テーマ展「狩野派がいっぱい」	7月13日～9月5日
	テーマ展 「奥羽再仕置430周年記念 徳川家康が下野にやってきた!」	7月13日～9月5日
	テーマ展「山からの贈り物 ～栃木の山村生活誌～」	7月13日～9月23日
	企画展「鉱物と宝石の教室」	7月17日～9月23日
	テーマ展「クビアカツヤカミキリ ～話題の害虫まるわかり～」	7月17日～2022年1月23日
群馬県立自然史博物館	第64回企画展「鳥がトリであるために」	7月17日～12月5日
群馬県立ぐんま昆虫の森	第18回企画展「セミたちの夏」	7月17日～10月24日
	夏の特別展「カブト・クワガタ展」	7月3日～8月29日
川口市立科学館	特別展「ウンコ展 ～?がつまったおとしモノ～」	6月12日～7月11日
越谷市科学技術体験センター	SDGsってなに? 未来のためにいまわたしたちができること	3月23日～7月25日
千葉県立中央博物館	大利根分館 企画展 躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前の暮らしと世相ー	7月17日～8月31日
	大多喜城分館 企画展 古文書にみる近世の大多喜	7月8日～10月17日
	分館 海の博物館 収蔵資料展 イカ展	7月17日～9月5日
	夏の展示 うみ鳥つぶ [Umi-Trip]ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー	7月3日～9月12日
	生態園 トピックス展 生態園の虫たち	6月8日～9月5日
我孫子市鳥の博物館	第88回企画展「鳥のチャンピオン」	7月17日～11月28日
港区立みなと科学館	夏の企画展「みんなの雲展」	7月14日～9月12日
国立科学博物館	企画展「加速器ーとてつもなく大きな実験施設で宇宙と物質と生命の謎に挑んでみたー」	7月13日～10月3日
	特別展「植物 地球を支える仲間たち」	7月10日～9月20日
たばこと塩の博物館	第42回夏休み塩の学習室「塩づくり!ところかわれば何か変わる?」	7月21日～8月29日
神奈川県立 生命の星・地球博物館	特別展「絶海の自然ー硫黄列島をゆくー」	7月17日～10月31日
平塚市博物館	平塚空襲ーその時、それまで、その後ー	7月16日～9月5日
糸魚川 フォッサマグナミュージアム	特別展「アルプスと海をつなぐ梅海新道ー大縦走路の軌跡ー」	7月22日～9月26日
上越科学館	夏期特別展	7月17日～8月29日
富山市科学博物館	特別展「はじめよう!昆虫採集」	7月17日～10月3日
福井市自然史博物館	夏季企画展 「カブクワ??進?ー世界の、福井のカブトムシ・クワガタムシー」	7月17日～10月24日
岐阜市科学館	デジタルはなびパーク in ぎふ	7月28日～8月31日

※施設の一部を閉鎖している館園や、入館に際し予約を必要とする館園がございます。各館園のホームページをご確認ください。

開催館	展覧会名	開催期間
岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	企画展 人工衛星「ふしぎ・つながり・みらい」展	7月17日～9月6日
中津川市鉱物博物館	第39回私の展示室「北陸地方の化石」	3月27日～9月5日
月光天文台	「生きている化石」展	7月3日～10月31日
ふじのくに地球環境史ミュージアム	トピックス展「学校に眠る標本」	6月8日～8月9日
	新収蔵品展 2021	6月26日～8月22日
	県勢標本 - 「静岡発」自然史コレクションから見えるもの-	4月24日～11月7日
ディスカバリーパーク焼津	夏の特別展「撮りまくれ!びっくり写真トリックワールド」	7月3日～8月22日
鳳来寺山自然科学博物館	新城の天然記念物-守りたい自然遺産-	7月18日～8月31日
豊橋市自然史博物館	第35回特別企画展「地球は昆虫であふれている」	7月9日～9月5日
名古屋市科学館	特別展「昆虫」	7月17日～9月20日
真珠博物館	鳥羽パノラマ幻燈館	4月24日～2022年4月10日
鳥羽水族館	TOBA リンピック～あつまれ!水中のアスリート～	7月17日～9月20日
大阪市立科学館	企画展「もっと知りたい!アインシュタイン」	6月4日～8月22日
大阪市立自然史博物館	ノーベル賞受賞100年記念「アインシュタイン展」	7月17日～10月10日
神戸市立青少年科学館	カセイノヒミツ～最新データからわかる火星 生命の痕跡をもとめて～	7月22日～8月31日
伊丹市昆虫館	伊丹市昆虫館 × 箕面公園昆虫館2館合同 魅惑のいもむし・けむし展	3月31日～7月19日
	特別展 擬態 -自然のだまし絵-	7月22日～10月4日
	ブチ展示 昆虫採集と標本作製道具	5月19日～9月27日
兵庫県立人と自然の博物館	収蔵資料展「ひとはくの鳥類標本をお見せします!」	7月21日～9月12日
姫路科学館	特別展「立体の華麗な変身!」	7月30日～8月30日
鳥取県立博物館	QooDZILLA!! クジラとイルカの世界	7月17日～8月29日
島根県立三瓶自然館	THE 昆虫展 小さなムシの大きなチカラ	7月17日～9月26日
つやま自然のふしぎ館 (津山科学教育博物館)	ナイトミュージアム	8月7日～8月15日
倉敷市立自然史博物館	第30回特別展「きらめき☆ときめき昆虫展」	7月15日～9月12日
広島市交通科学館	夏季企画展「世界を駆けろ!-サーキットで戦う日本のオートバイ-」	7月16日～8月29日
防府市青少年科学館	夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2021」	7月31日～8月20日
愛媛県総合科学博物館	パネル巡回展「いのちってなに?」	7月17日～8月31日
	特別展「探検!化石の世界」	7月17日～9月20日
北九州いのちのたび博物館 北九州市立自然史・歴史博物館	「世界遺産ビジターセンター」開設	3月16日～2022年3月31日
	企画展「蓮-極楽浄土の花-」	6月21日～8月22日
	夏の特別展「THE モンスター展II-攻撃と防御-」	7月17日～9月26日
	企画展「北九州の古文書- komonjyo -」	8月28日～10月31日
福岡市科学館	グラバーが運んだみらい展 蒸気のみみつ	4月29日～8月29日
佐賀県立宇宙科学館	夏の特別企画展 『翼王展 大空を支配した生き物たち』	7月17日～8月31日
天草市立御所浦白亜紀資料館	企画展「恐竜からイルカまで天草一億年の旅 -御所浦白亜紀資料館収蔵品展-」	7月17日～8月31日
熊本県博物館ネットワークセンター	教科書に登場する動物たち	8月17日～10月17日
宮崎県総合博物館	絶滅モンスター展2021 ～恐竜VSほ乳類～	7月10日～9月5日
鹿児島市立科学館	夏休み特別企画展「科学捜査展」	8月1日～8月30日
屋久杉自然館	小杉谷・石塚閉山50周年記念特別展 「小杉谷・石塚～森と人々の記憶～展」	3月22日～2022年3月20日
沖縄県立博物館・美術館	令和3年度 博物館特別展 みんなの進化展 ～命はつながっている～	7月21日～9月20日

※次号(9月号)に掲載の9月10日の特別展情報は7月23日(金)までにお寄せください。

新規加盟館 紹介

ロマンスカーミュージアム

〒243-0438

神奈川県海老名市めぐみ町1-3 (小田急線海老名駅すぐ)

<https://www.odakyu.jp/romancecarmuseum/>



歴代ロマンスカーが並ぶロマンスカーギャラリー

ロマンスカーミュージアムは、東京と神奈川にて鉄道路線を展開する小田急電鉄の企業ミュージアムとして、2021年4月19日に神奈川県海老名市にオープンしました。小田急電鉄が運行する特急列車である「ロマンスカー」をテーマに、「“子ども”も“大人”も楽しめる鉄道ミュージアム」をコンセプトとしています。

館内は4つのゾーンから構成されており、小田急線開業当時の車両を展示しロマンスカーと小田急電鉄の歴史を凝縮した映像を楽しめる「ヒストリーシアター」、新宿と小田原・箱根を結んで走った歴代ロマンスカー5車種を常設展示している「ロマンスカーギャラリー」。小田急沿線のまちや観光地を再現した鉄道ジオラマを映像×音響×照明のダイナミックなショーで演出する「ジオラマパーク」、子どもの年齢や運動能力にあった遊び方ができるキッズエリア「キッズロマンスカーパーク」。ロマンスカーの実際の運転機器と撮影映像を活用して本格仕様の運転士体験ができるロマンスカーシミュレーター“LSE (7000形)”も見どころです。

また、来館者だけでなく一般のお客さまでもご利用いただけるミュージアムカフェ“ROMANCECAR MUSEUM CLUBHOUSE”では、「走る喫茶室」として有名なロマンスカーの車内販売サービスで提供されていたメニューをオマージュしたデザートもお楽しみいただけます。グッズショップ“TRAINS”ではロマンスカーや小田急電鉄のグッズなどを販売しています。



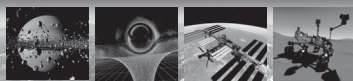
電車の検車庫をコンバージョンしたデザインの外観

鉄道ファンの皆さまはもちろん、子どもも大人も様々な体験を通してロマンスカーや小田急電鉄に興味を深め、楽しく過ごしていただけるミュージアムを目指していきます。

全く新しい映像体験をあなたに

Media Globe Σ SE

地球や広大な宇宙の姿を圧倒的なリアルさで再現する
次世代の全天デジタル映像ソリューション



コニカミノルタ プラネタリウム株式会社 <http://konicaminolta.jp/planetarium>

B | NOMURA
GROUP

世界に、歓びと感動を



株式会社 乃村工藝社

本社 東京都港区台場 2-3-4 TEL : 03-5962-1171 (代表)

リニューアル情報

※次号（9月号）に掲載のリニューアル情報は7月23日（金）までにお寄せください。

愛媛県総合科学博物館

〔更新場所〕 愛媛県総合科学博物館 3階科学技術館「かはくサイエンススタジオ」

〔更新内容〕 愛媛県総合科学博物館は、3階科学技術館に新設した「かはくサイエンススタジオ」から楽しい実験動画やイベント紹介動画、展示会の予告動画、サイエンスショーのライブ配信など、さまざまなデジタル情報を発信していきます。明るく楽しい雰囲気スタジオの中には、動画や写真の撮影、編集作業、配信を行うことができるように機材が揃っています。ここで撮影し制作されたサイエンス動画を、当館の公式SNSやYouTubeチャンネルを通して配信します。ライブ配信中にチャットで質問に応えるなど、視聴者とのオンライン交流も行います。

一般の来館者は、ガラス窓越しに撮影している様子を見学することができ、撮影のない時はこれまで当館で制作してきた数多くのおもしろサイエンス動画をモニターで観覧することができます。また、この場所での写真撮影会や実験動画の出演体験などのさまざまなイベントも予定しております。

〔更新面積〕 15㎡

〔公開日〕 2021年4月1日（木）



かはくサイエンススタジオ外観



サイエンスショーのライブ配信の様子

ここを動かす空間をつくりあげるために。

調査・企画、デザイン・設計、制作・施工、運営

Tanseisha

空間創造のプロフェッショナル 株式会社 丹青社

〒108-8220 東京都港区港南1-2-70 品川シーゾントラス19F
TEL|03-6455-8100(代表) URL|www.tanseisha.co.jp

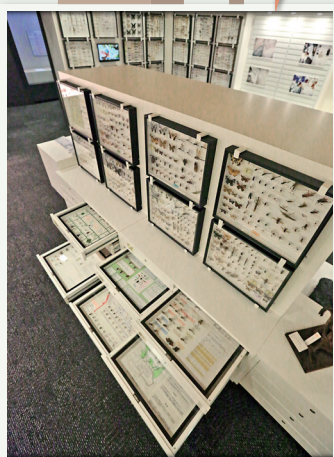
札幌・仙台・新潟・名古屋・京都・大阪・福岡・那覇・上海

寄附の受付について

全科協の活動を支援いただく寄附を随時承ります。
申込み、お問い合わせは全科協事務局までご連絡
ください。

みなさまのご支援ご協力をお待ちしております。

参加者の成長が見える「みんなでつくった昆虫標本」



みんなでつくったミュージアムフィールドの
実物昆虫図鑑の展示

三重県総合博物館HP
HP <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

開館当初から敷地内のミュージアムフィールドを活用して県民参加型活動を実施し、自然史情報の収集、館内と館外をつなぐ展示のほか、次世代育成を視野に入れた事業を実施しています。この資料は、初年度に参加者がミュージアムフィールド内で調査した昆虫類を展示し、月毎に観察できる昆虫を来館者に紹介しています。回を重ねるごとにスキルアップする参加者の標本作りも見どころのユニークな展示となっています。今年で8年目を迎え、自然科学を学ぶことを目指して大学に進学していった参加者もいます。



次回執筆者は、栃木県立博物館 林 光武さんです。

新規 巡回展示募集

加盟館園がお持ちの資料、あるいは新規に製作する企画展示等について

巡回展事業へのご提供をお願いいたします。

ご提供可能な展示がある場合、またご質問がありましたらメール等で事務局までご連絡ください。

みなさまからのご連絡お待ちしております。

※なお本事業は、所有される資料をお譲りいただくものではありません。



全国科学博物館協議会

全科協ニュース編集委員

- 井島 真知(ベルナール・ピュフェ美術館学芸員)
- 大島 光春(神奈川県立生命の星・地球博物館主任学芸員)
- 西田 雅美(公益財団法人日本科学技術振興財団
科学技術館運営部主任)
- 畠山 泰英(株式会社キウイラボ代表取締役)
- 平田慎一郎(きしわだ自然資料館学芸員(参事))
- 弘田 澄人(かわさき宙と緑の科学館天文担当係長)
- 野村 篤志(国立科学博物館展示開発・博物館連携グループ長)

全科協事務局

- 国立科学博物館
科学系博物館イノベーションセンター
(担当:松澤・新井・堤)
- TEL 03-5814-9863 FAX 03-5814-9899
info@jcsm.jp
- 発行日 2021年7月1日
- 発行 全国科学博物館協議会 ©
〒110-8718
台東区上野公園7-20 国立科学博物館内
- 印刷 株式会社セイコー社